

四万十街道 大正、なま街 原つ道 物い 語

雲の上の町 ゆすはらの南国と呼ばれる松原。森の風がやさしく吹きわたるいいやされる桃源郷です。昔から旅人をもてなしてきたお茶堂屋で、多彩なもよおしが開かれます。ゆたかな自然の中で春の一日をどうぞ。

めがね橋や茶堂、ぐるっと一周できる馬蹄形の集落をゆ〜〜〜散歩。満月に浮かぶ浮島のようなおとぎの国を楽しめます。

平家落人伝説 外聞
平氏を追って来た源氏だったが、下津井で来た頃、疲れきってはいきなり眠ってしまった。平氏も逃げることできず、とちらともなく、「ま〜いかにみだいな夢」になり、源氏も平氏も仲良く暮らすようになったという説がある。お説の一つとして、下津井にはたぐさの名字が混在していることがあげられる。この、のどかで和やかな里には、とてもぴた〜とくる物語に。

後、やがて里山にのどかな集落がみえる。美しい風景は、四方の文化の景観。美しい溪谷やス木の森、風景林、沢下橋や茶堂、神社石段の互びなみとも人気です。

森林軌道下道路 (1944年大正路までの18kmが敷設された。大正路から伊賀橋、流木によって下道は、八足運んでいた)

ゆ〜〜と春の光を浴びながら山里を彩るいなまつりを巡る。なつかしさやあたたかさに出会いふと心が熱くなる。そんな春の一日があってもいい。

世界一の石の風車が春のそよ風にゆ〜〜と回る。崎公園にある旧門脇家住宅がメイン会場。旧大正町、田野々の町中にも個性豊かな飾りでおみな様を展示しています。バリエーションゆたかなおみな様を大正ロマンを感じながら、ゆ〜〜と歩いてご覧下さい。

田野々の地名は平成18年、合併によって「大正」に変更された。中央に森馬太場(田万カ高枝原)を残し、太方には川が流れていた旧河道跡に平地が開けた地形。たのの、は、段々のある段丘地「たなの」がなまり変わって言葉。

